

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

令和元年度技術情報について

令和元年度技術情報第1号を發表したので送付します。

令和元年度技術情報第1号

令和元年6月28日
徳島県

6月第5半旬に、オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数が急増し、6月第6半旬に夏秋ナス圃場において、葉における産下卵数を調査した結果、100葉当たり1卵以上認められました。

現地においては、発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：野菜類(特に夏秋ナス、オクラ、その他トマト、ミニトマト、ピーマンなど)
花き類(キク、バラなど)

病害虫名：オオタバコガ

1.発生地域 県内全域

2.発生時期 6月下旬～

3.発生状況

(1)フェロモントラップへの誘殺数

フェロモントラップの定点(6地点)調査において、6月第5半旬より誘殺数が増加し、平均で28.5頭(5～67頭)、平年の約2.4倍となった。

本年の発生量、発生消長は、多発生となった2014年と似ており、今後、7月第1半旬頃に幼虫の発生ピークが来ると予想される(図1)。

(2)現地夏秋ナス圃場の発生動向

6月26日に実施した夏秋ナス現地9圃場(東みよし町1圃場、三好市1圃場、美馬市1圃場、阿波市阿波町3圃場、阿波市市場町2圃場、阿波市吉野町1圃場)における産下卵調査では、8圃場で産下卵が確認され(圃場率88.9%)、100葉当たりの平均卵数が1.9卵であった(平年は50.0%、1.1卵)。

4.防除法等

(1)被害部位(果実、花蕾)や剪定後の茎葉には卵や幼虫が付着している可能性があるため、圃場外に持ち出して適切に処分する。

(2)果実や茎、花蕾に食入した幼虫や発育が進んだ幼虫に対しては薬効が著しく低下するので、若齢幼虫主体の時期に薬剤防除を行う。

(3)本虫は作物の花蕾や生長点付近の新葉に1個ずつ産卵する。野外での卵期間は3日程度であり、7月第1半旬には幼虫の発生ピークが来ると予想される。その後多い状態が続き、防除適期がつかみにくくなる場合もあるので、寄生部位を注意深く観察してから防除する。

- (4) 防除薬剤は、夏秋ナスやオクラでは、アフーム乳剤やプレバソンフロアブル5等の散布が有効である(表1, 2)。更に、7月下旬頃より定植が始まるキャベツ、ブロッコリー等のアブラナ科野菜やレタスでは、プレバソンフロアブル5またはジュリボフロアブル、キックオフ顆粒水和剤等のセル成型トレイへの灌注処理が有効である。
- (5) 防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

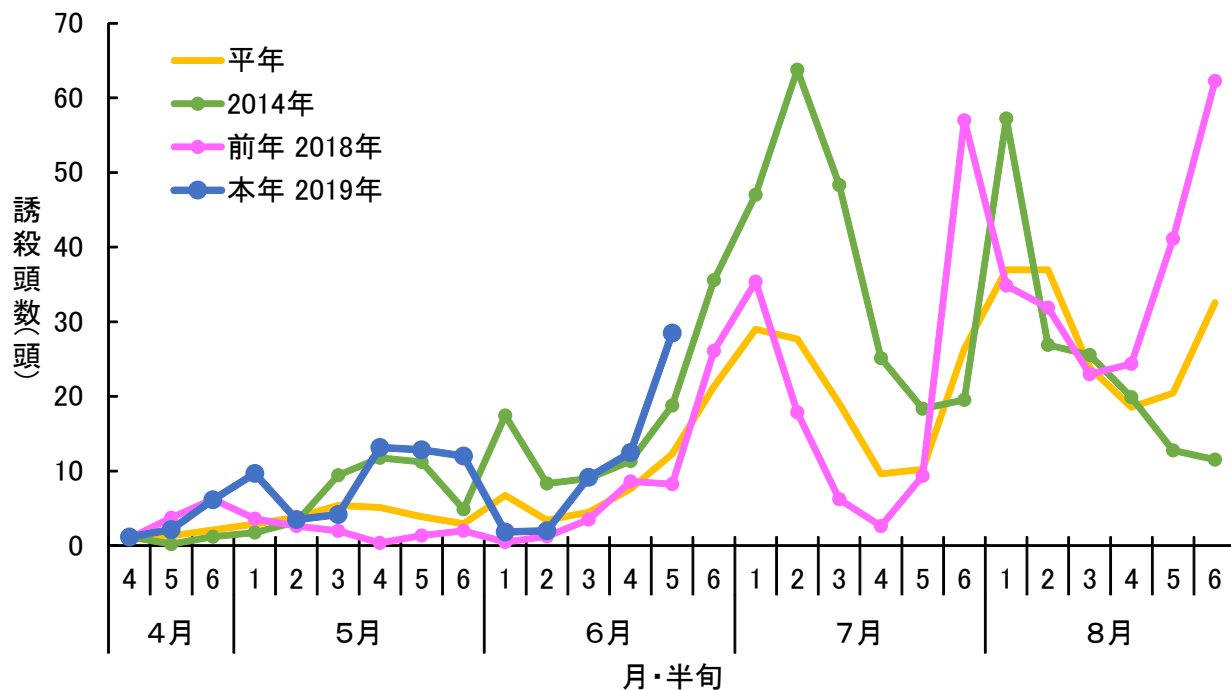


図1 オオタバコガ雄成虫誘殺数の推移

調査圃場：石井町, 阿波市(柿原, 香美, 下喜来), 三好市(勢力), 東みよし町(昼間)



図2 ナスの上位葉に産下された卵(黄色円内)



図3 オオタバコガ幼虫と食害痕

表1 ナスでオオタバコガに登録のある農薬(登録内容：2019年6月27日現在)

農薬の名称	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	IRAC コード
スピノエース顆粒水和剤	5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	5
アニキ乳剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	6
アフーム乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	6
コテツフロアブル	2000倍	収穫前日まで	4回以内	13
マトリックフロアブル	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	18
アクセルフフロアブル	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	22B
プレバソンフロアブル5	2000倍	収穫前日まで	2回以内	28
フェニックス顆粒水和剤	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	28
プレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで	4回以内	未

表2 オクラでオオタバコガに登録のある農薬(登録内容：2019年6月27日現在)

農薬の名称	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	IRAC コード
アフーム乳剤	2000倍	収穫前日まで	2回以内	6
コテツフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内	13
アタブロン乳剤	2000倍	収穫前日まで	4回以内	15
プレバソンフロアブル5	2000倍	収穫前日まで	3回以内	28
プレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで	2回以内	未